

機械器具(21) 内臓機能検査用器具
一般医療機器 単回使用パルスオキシメータプローブ 31658000

RESMED パルスオキシメータセンサ 7000A

再使用禁止

【警告】

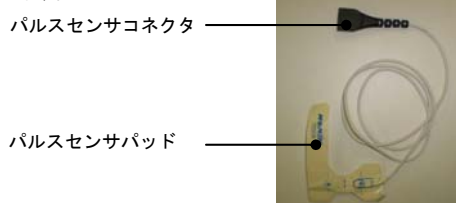
- ・本装置を装着する際にはケーブルが絡まないよう注意すること。[ケーブルが絡まると血行が阻害されたり、窒息する場合があります]
- ・患者の皮膚や健康状態によっては、粘着テープに対してアレルギー反応が生じる場合がありますので、そのような場合は、使用を中止すること。
- ・本装置を使用する際にはマニキュアやつけ爪は除去すること。[つけ爪やマニキュアは特に濃い色の場合、光の透過を低下させ、測定値の正確度を損ねる場合があります]

【禁忌・禁止】

- ・再使用禁止。

【形状、構造及び原理等】

<外観図>



<動作原理>

本装置は、酸素ヘモグロビンと還元ヘモグロビンの吸収特性の差を利用して、発光部から放出される赤外光・赤色光を受光部で受け、専用のパルスオキシメータに接続し、その測定値を患者監視装置で解析することにより動脈酸素飽和度、脈拍数が求められる。

<使用条件>

周囲温度：0～40℃
相対湿度：10～90%（結露のないこと）

【使用目的又は効果】

<使用目的>

本装置は、連続的非侵襲動脈血中酸素飽和度と脈拍数のモニタリングを要する体重 20kg 以上の成人患者に使用するセンサである。

【使用方法等】

<装着方法>

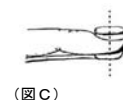
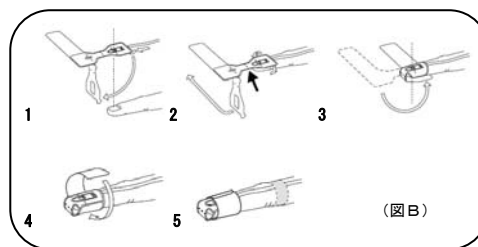
- ①パルスセンサコネクタをパルスオキシメータのコネクタに接続する。
 - ・パルスセンサコネクタとパルスオキシメータのコネクタ上の「△」マークを合わせるように接続する。(図 A 参照)



- ②パルスセンサパッドの接着テープの台紙を剥がす。(図 B-1 参照)
- ③パルスセンサパッドの発光部分が左手薬指の爪側に、受光部分が反対側になり、指先がほぼ中央まで来るように載せ(図 B-2 参照)、残りの部分を指にかぶせるように巻き(図 B-3 参照)、発光部分と受光部分が指をはさんで垂直になるようにする。(図 C 参照)

- ④横方向の接着テープを指に巻き、しっかり固定する。(図 B-4 参照)

- ⑤より正確な計測のためには、ケーブルをテープで指に固定する。(図 B-5 参照)



<取り外し方法>

パルスセンサパッドを、指先から取り外す。

【使用上の注意】

- ・本装置または包装に破損がみられる場合は使用しないこと。
- ・濡らしたり湿度の高い場所に置いたり液体を侵入させてはならない。
- ・以下の場合は、正しく測定できない可能性がある。
 - －パルスオキシメータセンサが正しく装着されていない場合。
 - －異常ヘモグロビンの量が多すぎる患者。(HbCO, Met Hb)
 - －血液中に色素を注入した患者。
 - －CPR(心拍蘇生術)処置をしている患者。
 - －静脈拍動がある部位で測定している場合。
 - －体動のある患者。
 - －脈波の小さい患者。
 - －併用する医療電気機器から電磁干渉を受ける場合。
 - －強い光が当たる場合。
 - －つけ爪やマニキュアをつけた患者。
 - －推奨されるパルスオキシメータを使用しない場合。
 - －血流が遮られた場合。
- ・6～8時間毎に取付け箇所を確認し、うっ血や低温やけど、かぶれ等の異常が無いことを確認すること。

* 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

- * 製造販売業者：レスメド株式会社
TEL 03-5829-4410

社内管理用 (T13P11-4)